

(当社関連報道について)

北日本新聞「北電 電気料金下げ検討 来秋までに実施の意向」
(平成 17 年 12 月 13 日(火)付朝刊 1 面 掲載)について

平成 17 年 12 月 13 日
北陸電力株式会社

標記について、読者の皆さまの誤解を防止し、当社側の真意をお伝えする観点から、取材時の永原社長の発言内容を下記のとおり掲載します。

記

電気料金の値下げ検討についての発言

価格競争力強化の観点から、電気料金については常に意識すべき課題である。
平成 18 年度の収支を見通したうえで判断する考えであり、現段階では白紙である。

バックエンド制度の変更に伴い、速やかに原価を見直すことは正論ではあるが、原価の見直しにあたってはバックエンド制度変更の他にも効率化努力の進み具合など、考慮しなければならない要素もある。

値下げできる環境が整っているかどうかを検討するため、社内に指示をしたばかりであり、「時期は」と言われても、今は白紙としか言いようがない。

ブルサーマルの導入についての発言内容

まずは志賀原子力の安全安定運転の確認と、地元の皆さまの理解醸成の見極めが必要であると考えている。

これを踏まえれば、志賀 2 号機の営業運転開始後、諸般の情勢を勘案しながら、申し入れ時期を検討することになるかと思う。

以 上